

新体験、浮遊感ある書き心地

全社上げて製品開発 新インキの摩擦レスボールペン

ペンてる株式会社(和田優社長、東京都)は、6月18日午後、東京都渋谷区の「dotcom Space etokyo@原宿」で、新体験の浮遊感のある書き心地を実現した摩擦レスボールペン「FLOATLINE(フロートライン)」の体験発表会を開催した。

体験発表会は始めに執行役員(現・役員)の高垣克己製品戦略本部長兼国内営業本部長が「弊社ではこれまでにもオレンズペンを筆頭に、オレンズAT、マツトホップなど様々な表現具を開発してきた。フロートラインは開発に7年以上、社員総勢100人以上



右より高垣本部長、伊藤氏、柴田課長、初谷氏、吉川課長



新ボールペン「フロートライン」

が開発に携わった全社挙げての製品。6年前に新インキを試し、その書き味に驚き、製品化を促した。紆余曲折を経て、ようやく上市できる。フロートラインは今までの開発アプローチにはない、体験価値を追求した五感に訴える製品。AIの時代に筆記具は五感で捉

える要素が大きく、書き心地を体験してもらえば製品の素晴らしさをわかってもらえると思う。このフロートラインを核としてボールペン市場のシェアを拡大したい。全社一丸となって販売に注力していく」と意欲を綴り交ぜ挨拶。

続いて、新商品説明を製品戦略本部長兼国内営業本部長藤淑子氏が進行し、フロートラインの提供価値について「7年の歳月をかけて、過去最大の100人以上の社員が開発に携わった大型新製品。フロートラインは



高精細チップ クッションインキ効果
オーバーフローインキ

インキをたっぷりスムーズに出す「オーバーフローインキ技術」を採用

6月4日放送のTBS系テレビ番組「マツコの知らない世界」で、文房具ソムリエ・石津大氏が出演

「マツコの知らない世界」で、文房具ソムリエ・石津大氏が登場し、最新の文房具事情を紹介した。

番組では、使いやすいが4%と、大多数を占めた。アイデアが思いついたらと、書き心地の良さをとれなかった、どらなかつた理由の1位が「手近にペンや紙がなかった」という物理的な理由に続き、2位に「ペンや紙はあったものの、書き心地がいまいちでうまくま

進化した定番文具、進化を遂げた最新シャープペン、地方メーカーのアイデア文具など巧みなトクで最新の文具を紹介。

コクヨの進化系「グルー」のシワにならない液体のりでは、実体験したマツコさんが「買います」と即答。「自動芯出し機構」を搭載の入手困難な高級シャープペン「オレンズネロ」では、筆記を体験したマツコさんは「モモ」と、進化に潜む「嫌悪感」をス



番組出演者石津大氏とマツコ

本日の軸デザインは余分な情報を排除、書き心地を阻害しないノイズレスなデザイン。軸色は白、グリップ部はグレー。ボール径は0.3mm、0.4mm、0.5mmの3種類。インキ色は黒・青・赤の3色。1本300円、リフィル150円(税別)。

開発秘話のクロストークでは、技術研究所第二技術室・吉川勝哉課長、研究開発本部長一関啓太、初台洋洋氏、製品戦略本部長田智明課長の3氏が登壇、商品化への経緯や開発の苦労を語った。

プロジェクトは「新しいボールペンに求められる価値とは」を模索するところからスタート。ボールペン開発における従来のアプローチではなく、思わず「WOW!」と口に出してしまうような感覚に動かされるボールペンを目標に掲げた。「体験したことのない」を、筆跡は「クロクワ」、インキの出方は「ドバドバ」、書き味は「ヌルヌル」といった感覚言語(オノマトペ)を手掛かりに技術に落とし込み、試行錯誤を繰り返す中で、2018年に「ヌル3」イ

他シャープでは、三菱鉛筆の「クルトガ」、パイロットの「ドクタークリップC Lポーター」、ゼブラの「デルガード」が紹介された。

文具では、アスカの「どこでも学習台」、クワの「折りたたみアルミ定規」、サンスター文具の「ワカンマリ」や「メタシル」、ニックの「手動鉛筆削りトガリタン」や「ストパーコンパス」など、アイデアと工夫で市場を盛り上げる話題の文具が続々登場した。

「ヌル3」の各国で実施したモニター調査で、アメリカ人の社員から「WOW!」と、驚きの声が上がったという。2020年からチップ設計など製品開発のプロセスに入り、浮き上がらせて回転するオーバーフローインキ技術の採用により、究極の摩擦レスボールペンが完成した。

柴田課長は「デジタルツールを愛用する時代に、アナログの筆記具ができることは何か、書くこと自体の体験に価値があるのではないか」と模索した。吉川課長は「書き味の軽さ重さ以外の軸は初めて、心地よい体験を目指して、試行錯誤が始まった」と、今までにない開発アプローチを技術に落とし難しさを苦労を語った。

フロートラインのデビューキャンペーン第一弾が7月1日から、第二弾が7月15日からスタート。専用Xのアカウント(Pencilcamp)のフォローと対象の投稿をリポストでデジタルギフトを進呈。また、BSの人気番組「ガイヤの夜明け」や「ヒロシのぼっちキャンプ」で、CM放映中。

9月8日まで作品募集

〇…サンスター文具…〇 文房具アイデアコンテスト

サンスター文具株式会社(吉松幸芳社長、東京都)は、6月1日より9月8日まで「第29回文房具アイデアコ

ンテスト」の作品募集を行っている。テーマは「ぎゅっ」。そっと指をのせた赤ちゃん。のてのひら。ぎゅっ。運動会、かけっこ前に緊張しながら結ぶ紐、ぎゅっ。



2024年9月8日(日)まで サンスター文具株式会社

志望校に合格し親友と顔を合わせる。ぎゅっ。何日かお泊り。わたしもかけて準備したプレゼント。当日、ぎゅっ。子供につ

素敵な発想が「ぎゅっ」と話まった文房具のアイデアを募集。

審査委員は、審査員は昨年から引き続き、安次富隆氏(プロダクトデザイナー)、ザリガニワークス(マルチクリエティブ会社)、KREVA氏(HIT P HOPアーティスト)と新たにitabame氏(アーティスト)を迎えている。

審査発表は、一次審査(作品)賞金5万円十副賞(審査員特別賞(4作品)賞金5万円十副賞(4作品)賞金5万円十副賞(4作品)をそれぞれ贈呈される。

くるおかずいっぱいのお弁当、ぎゅっ。わたしたちの周りにはたくさん「ぎゅっ」が溢れています。

一般部門のグランプリ(1作品)には賞金100万円、優秀賞(4作品)には賞金10万円。ジュニア部門(中学生以下)のグランプリ(1作品)には商品券10万円分、優秀賞(4作品)には商品券5万円分を贈呈する。

また、一般部門とジュニア部門の両方から選出された、サンスター文具賞(1作品)賞金5万円十副賞(審査員特別賞(4作品)賞金5万円十副賞(4作品)をそれぞれ贈呈される。

「フロートライン」は、ボールペン筆記時の摩擦を軽減した浮遊感のある書き心地と、思考を邪魔しないノイズレスなデザインによって、まるで頭の中にある「形」になる前のアイデアが、ペン先から軽やかに走り出すような体験をすることができ。

浮遊感のある書き心地を実現させるために①金属同士のコンタクトを和らげるクッション成分配合インキ②スムーズかつ潤滑にインキを吐出するオーバーフローインキ技術③特殊インキの流路を最適化する高精細チップ採用、などを取り入れた、インキがなみなみと流れるシステムと特殊なインキのクッション効果で、浮遊感のある書き心地(インキの上で描くような書き心地)を実現した。

「フロートライン」のデビューキャンペーン第一弾が7月1日から、第二弾が7月15日からスタート。専用Xのアカウント(Pencilcamp)のフォローと対象の投稿をリポストでデジタルギフトを進呈。また、BSの人気番組「ガイヤの夜明け」や「ヒロシのぼっちキャンプ」で、CM放映中。

本を抜き取っても隣の本が倒れない

1冊でも倒れない BOOK STAND

本以外にCD・DVDなどの整理にも使えます。

1冊でも倒れないブックスタンド

本などを手前から差し込むだけ。抜き取ったところのストッパーだけが下がり、隣の本が倒れません。

A-3575

株式会社 LIHIT LAB. 本社 540-8526 大阪市中央区農人橋1-1-22 TEL(06)6946-2525(代) 東京 103-0007 東京都中央区日本橋浜町1-6-6 TEL(03)3862-6911 www.lihit-lab.com

充実した生産設備で

カラー封筒
セロ窓封筒

コーキ封筒株式会社

〒584-0023 大阪府富田林市若松町東3丁目7番8号
TEL 0721-25-7210(代表)
FAX 0721-25-9484